



## 2020年12月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年8月13日

上場会社名 マブチモーター株式会社

上場取引所 東

コード番号 6592 URL <https://www.mabuchi-motor.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 大越 博雄

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理・財務担当 (氏名) 富田 たくみ

TEL 047-710-1127

四半期報告書提出予定日 2020年8月14日

配当支払開始予定日

2020年9月14日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年12月期第2四半期の連結業績(2020年1月1日～2020年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第2四半期	48,840	26.0	3,509	57.8	2,994	69.0	860	86.8
2019年12月期第2四半期	66,002	9.0	8,316	24.6	9,648	24.3	6,517	27.7

(注) 包括利益 2020年12月期第2四半期 5,593百万円 ( %) 2019年12月期第2四半期 2,591百万円 ( 18.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第2四半期	12.96	12.96
2019年12月期第2四半期	97.80	97.76

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第2四半期	252,853	235,208	93.0
2019年12月期	268,244	245,172	91.4

(参考) 自己資本 2020年12月期第2四半期 235,113百万円 2019年12月期 245,048百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期		67.00		68.00	135.00
2020年12月期		67.00			
2020年12月期(予想)				68.00	135.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

なお、利益配分に関する基本方針及び当期の配当予測につきましては、添付資料1.(3)「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」も併せてご参照ください。

(注) 配当金の内訳

2019年12月期特別配当 第2四半期末52円00銭 期末53円00銭

2020年12月期(予想)特別配当 第2四半期末52円00銭 期末53円00銭

### 3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	104,000	21.1	8,300	52.7	8,900	57.3	5,000	64.9	75.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年12月期2Q	68,562,462 株	2019年12月期	68,562,462 株
期末自己株式数	2020年12月期2Q	2,122,040 株	2019年12月期	2,169,271 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年12月期2Q	66,405,895 株	2019年12月期2Q	66,644,866 株

(注)2020年12月期2Qの自己株式数には、マブチモーター従業員持株会信託及び役員報酬BIP信託の保有する当社株式数(期末自己株式数114,000株及び202,449株)を含めており、2019年12月期の自己株式数には、マブチモーター従業員持株会信託及び役員報酬BIP信託の保有する当社株式数(期末自己株式数139,100株及び203,226株)を含めております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における業績予想に関する記述は、現時点において入手可能な情報に基づいております。  
また、業績は、今後の様々な要因により見通しと異なることがあります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	P. 6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	P. 7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 9
(継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	P. 9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	P. 9
(追加情報)	P. 9
(セグメント情報)	P. 10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2020年1月1日～2020年6月30日)における世界経済は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大に伴う経済活動の停滞等の影響により、大幅に減速しました。米国経済は、都市封鎖に伴う個人消費の落ち込みにより、大幅なマイナス成長となりました。欧州経済は、各国の大規模な都市封鎖の影響により、消費が急減し大きく下振れました。我が国経済は、緊急事態宣言による外出自粛の影響により個人消費が低迷し、景気は急速に悪化しました。新興国経済は、中国は経済活動の再開により回復傾向が見られた結果、プラス成長に転じましたが、その他の新興国については感染拡大の影響により経済活動が停滞し、全体としては大幅なマイナス成長となりました。

当社グループの関連市場におきましては、自動車電装機器市場は、中国市場で下げ止まりの兆しが見られましたが、北米及び欧州市場を中心に大幅な減速が見られました。民生・業務機器市場は、欧州市場に回復の兆しが見られましたが、その他の市場では大幅な減速が見られました。

このような景況下、当社のモーター販売実績は、数量では前年同期比25.2%の減少、金額では前年同期比26.0%の減少となりました。これらの結果、当第2四半期売上高は、488億4千万円(前年同期比26.0%減)となり、その大半を占めるモーター売上高は、488億3千7百万円(前年同期比26.0%減)となっております。

営業利益につきましては、売価・プロダクトミックスの改善などの増益要因はあったものの、販売数量の減少、ならびに操業度低下に伴う単位当たり固定費負担の増加などの減益要因もあり、35億9百万円(前年同期比57.8%減)となりました。経常利益は、受取利息は増加したものの、為替差損が増加したことなどにより、29億9千4百万円(前年同期比69.0%減)となりました。税金等調整前四半期純利益は31億3千6百万円(前年同期比66.5%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は8億6千万円(前年同期比86.8%減)となりました。

次に、モーターの用途別市場動向と販売状況についてご説明いたします。

## ① 自動車電装機器市場

売上高は349億6千9百万円(前年同期比28.5%減)と減少しました。重点強化事業である中型自動車電装用途では、いずれの用途においても新型コロナウイルス感染拡大による世界的な自動車生産の稼働休止・制限の影響を受けました。パワーウインドウ用は、北米自動車メーカー向け高トルク標準品の拡販を継続、パワーシート及びパーキングブレーキ用では、それぞれ搭載車種の拡大等のプラス要素があったものの、世界的な自動車生産の稼働停止等の影響を受け減少しました。ドアロック、ミラー及びエアコンダンパー用等の小型電装用途についても、シェアを維持したものの、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け減少しました。

## ② 民生・業務機器市場

売上高は138億6千7百万円(前年同期比18.8%減)と減少しました。理美容関連機器用は、歯ブラシ用の中高級セグメントが堅調に推移したものの、新型コロナウイルス感染拡大の影響及び一部用途における採算性重視の方針による受注絞り込みにより減少、インクジェットプリンター用は市場縮小により減少しました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期末における総資産は、前連結会計年度末に対して153億9千1百万円減少し、2,528億5千3百万円となりました。前連結会計年度末に対し変動の大きかった主なものは、受取手形及び売掛金の減少70億5千3百万円、配当の支払い等による現金及び預金の減少48億8千8百万円、有形固定資産の減少31億4千7百万円、投資有価証券の減少26億9千8百万円、たな卸資産の増加29億7千万円などです。

負債合計は、前連結会計年度末に対して54億2千7百万円減少し、176億4千4百万円となりました。前連結会計年度末に対し変動の大きかった主なものは、支払手形及び買掛金の減少22億5千4百万円、その他の流動負債の減少16億3千7百万円などです。

純資産合計は、前連結会計年度末に対して99億6千3百万円減少し、2,352億8百万円となりました。為替換算調整勘定が44億7千6百万円、利益剰余金が36億9千8百万円、その他有価証券評価差額金が20億4千5百万円、それぞれ減少しました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

世界経済は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の影響が継続し、経済活動の停滞が予想されます。米国経済は、都市封鎖の段階的な解除及び財政支援等により、消費に回復の兆しが見られるものの、持続性に不透明感があります。欧州経済は、各国の都市封鎖の段階的な緩和に伴い、経済活動の再開が進むものの、回復のペースは国によりばらつきが予想されます。我が国経済は、経済活動の再開に伴い成長へと転じることが見込まれます。新興国経済は、中国については景気刺激策により、新型コロナウイルス感染拡大前の水準まで回復しているものの、輸出の停滞等で更なる成長には懸念が残ります。その他の新興国については、輸出の悪化等が響き回復ペースは緩慢となる見通しです。

当社グループの関連市場におきましては、自動車電装機器市場は、北米及び欧州市場において完成車メーカーの操業は再開し、中国市場においても稼働は正常化しておりますが、世界の自動車生産台数は通期で大幅な減少が見込まれます。民生・業務機器市場は、欧州市場において減少幅の縮小が見込まれますが、その他の市場では大幅な減少が予想されます。

このような状況から、通期の連結業績予想につきましては、売上高は1,040億円（前期比21.1%減）になるものと予想しております。業績面につきましては、売価・プロダクトミックスの改善、銅や鋼材など市況品の下落による増益を見込んでいるものの、円高水準での為替推移、販売数量の減少、操業度の低下に伴う単位当たり固定費負担の増加などの減益要因を想定しており、これらの結果、営業利益を83億円（前期比52.7%減）、経常利益を89億円（前期比57.3%減）、親会社株主に帰属する当期純利益を50億円（前期比64.9%減）と予想いたしております。

当期の中間配当につきましては、直近に公表した配当予想（2020年2月13日公表）から変更無く、1株当たり67円（普通配当15円、特別配当52円）とさせていただきます。期末配当につきましても、直近の配当予想から変更なく、1株当たり68円（普通配当15円、特別配当53円）、これにより年間配当は1株当たり135円（普通配当30円、特別配当105円）の予想としております。

今後、経営環境にきわめて重大な変化が生じた場合は、業績予想、配当予想ならびに自己株取得などの株主還元を適宜見直し、速やかに開示いたします。

なお、当第2四半期連結累計期間の実績為替レートは1米ドル108.27円、当下半期業績見通しにおける前提為替レートは1米ドル105円としております。

（注）上記の業績予想に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づいております。業績は、今後の様々な要因により見通しと異なることがあります。その要因のうち、主なものは以下のとおりであります。

- ・ 為替相場の変動
- ・ 当社の事業領域を取り巻く経済環境・需要動向等の変化
- ・ 新技術・新製品等の急速な技術革新
- ・ 銅・鋼材・レアアース等の相場の変動

ただし、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	110,369	105,480
受取手形及び売掛金	21,913	14,859
有価証券	2,301	2,300
商品及び製品	24,353	24,838
仕掛品	954	1,067
原材料及び貯蔵品	8,572	10,944
その他	5,101	4,960
貸倒引当金	△53	△85
流動資産合計	173,510	164,365
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	50,580	49,751
減価償却累計額	△28,443	△28,676
建物及び構築物 (純額)	22,137	21,075
機械装置及び運搬具	64,220	64,145
減価償却累計額	△33,269	△34,321
機械装置及び運搬具 (純額)	30,951	29,823
工具、器具及び備品	19,403	19,728
減価償却累計額	△14,916	△15,275
工具、器具及び備品 (純額)	4,487	4,453
土地	6,640	6,548
建設仮勘定	16,288	15,455
有形固定資産合計	80,504	77,356
無形固定資産		
投資その他の資産	1,144	1,094
投資有価証券	10,980	8,282
繰延税金資産	704	489
その他	1,433	1,653
貸倒引当金	△33	△388
投資その他の資産合計	13,084	10,037
固定資産合計	94,733	88,488
資産合計	268,244	252,853

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,003	3,749
未払法人税等	1,966	1,548
賞与引当金	249	235
役員賞与引当金	172	43
その他	8,730	7,092
流動負債合計	17,121	12,669
固定負債		
長期借入金	635	542
株式等給付引当金	142	198
退職給付に係る負債	2,139	2,137
資産除去債務	17	17
繰延税金負債	2,716	1,795
その他	299	283
固定負債合計	5,950	4,974
負債合計	23,071	17,644
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,704	20,704
資本剰余金	20,419	20,419
利益剰余金	216,974	213,275
自己株式	△10,014	△9,797
株主資本合計	248,084	244,603
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,456	1,410
繰延ヘッジ損益	△2	—
為替換算調整勘定	△5,777	△10,254
退職給付に係る調整累計額	△712	△646
その他の包括利益累計額合計	△3,035	△9,489
新株予約権	124	95
純資産合計	245,172	235,208
負債純資産合計	268,244	252,853

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
売上高	66,002	48,840
売上原価	46,001	34,078
売上総利益	20,000	14,762
販売費及び一般管理費	11,684	11,252
営業利益	8,316	3,509
営業外収益		
受取利息	390	459
受取配当金	177	165
為替差益	257	—
スクラップ材料売却収入	647	532
その他	204	216
営業外収益合計	1,677	1,374
営業外費用		
株式関係費	57	51
為替差損	—	1,514
控除対象外消費税等	19	13
その他	268	309
営業外費用合計	345	1,889
経常利益	9,648	2,994
特別利益		
固定資産処分益	8	5
投資有価証券売却益	—	845
新株予約権戻入益	—	3
ゴルフ会員権売却益	1	—
特別利益合計	10	854
特別損失		
固定資産処分損	244	26
臨時退職金	58	69
生産子会社閉鎖損失	—	361
感染症関連損失	—	254
特別損失合計	303	711
税金等調整前四半期純利益	9,355	3,136
法人税等	2,837	2,275
四半期純利益	6,517	860
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,517	860

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	6,517	860
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	360	△2,045
繰延ヘッジ損益	37	2
為替換算調整勘定	△4,381	△4,476
退職給付に係る調整額	56	65
その他の包括利益合計	△3,926	△6,454
四半期包括利益	2,591	△5,593
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,591	△5,593
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	9,355	3,136
減価償却費	4,280	4,440
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	27	65
受取利息及び受取配当金	△567	△624
為替差損益 (△は益)	△11	2,114
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△845
有形固定資産処分損益 (△は益)	236	21
売上債権の増減額 (△は増加)	△132	6,516
たな卸資産の増減額 (△は増加)	1,678	△4,254
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,221	△2,904
新株予約権戻入益	—	△3
その他	△426	△195
小計	12,218	7,465
利息及び配当金の受取額	577	642
法人税等の支払額	△2,269	△2,980
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,526	5,127
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△1,646	—
有価証券の売却による収入	1,000	—
固定資産の取得による支出	△6,984	△5,348
固定資産の売却による収入	64	39
投資有価証券の取得による支出	△802	—
投資有価証券の売却による収入	—	1,132
その他	△40	11
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,408	△4,164
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	—	△92
配当金の支払額	△5,376	△4,539
自己株式の取得による支出	△3,002	△0
自己株式の売却による収入	63	87
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,314	△4,545
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,901	△1,305
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△8,098	△4,888
現金及び現金同等物の期首残高	113,560	110,863
現金及び現金同等物の四半期末残高	105,461	105,974

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染症拡大により、当社グループは各国の新型コロナウイルス感染症対策に伴う経済活動の停滞等により需要が縮小した影響を受けております。この状況により当連結会計年度中は一時的な需要低下があるものの、各地域での感染拡大収束、経済活動再開に伴い需要は徐々に回復していくと仮定しており、当該仮定を会計上の見積り（繰延税金資産の回収可能性、固定資産減損の認識判定）に反映しております。

なお、新型コロナウイルスの収束時期や将来的な影響は依然として不透明であり、将来における実績値に基づく結果がこれらの見積り及び仮定とは異なる可能性があります。

## (セグメント情報)

前第2四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	アメリカ	ヨーロッパ	計		
売上高							
外部顧客への売上高	6,908	31,512	11,612	15,968	66,002	—	66,002
セグメント間の内部 売上高又は振替高	40,865	36,206	629	41	77,741	△77,741	—
計	47,773	67,718	12,241	16,010	143,744	△77,741	66,002
セグメント利益又は損失 (△)	3,084	4,555	△452	471	7,658	657	8,316

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額657百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	アメリカ	ヨーロッパ	計		
売上高							
外部顧客への売上高	5,132	24,699	7,849	11,159	48,840	—	48,840
セグメント間の内部 売上高又は振替高	31,810	29,297	620	39	61,768	△61,768	—
計	36,943	53,996	8,469	11,199	110,608	△61,768	48,840
セグメント利益又は損失 (△)	1,031	2,486	37	△398	3,157	352	3,509

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額352百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。